



# 青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町 2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323  
URL http://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/平成28年12月28日



運用開始式

組合ではこのたび、まちな見守り機能向上を図るべく、問屋町大通りに7台の防犯カメラを設置した。  
問屋町には近隣企業も合わせると3千人を超える人が働いており、組合では、安心・安全なまちづくり実現に向け、防災、防犯、交通安全などの観点から、様々な取り組みを行ってきた。平成26年度には全国中小企業団体中央会の支援事業を活用して、防犯カメラを中心とした安心・安全なまちづくり推進体制構築の調査研究に取り組んだ。



問屋町会館前のカメラ



西理事長がカメラを起動

防犯カメラの設置は事件や事故が発生した際の事後検証に活用できるほか、犯罪抑止力向上にも大きく寄与する。組合員の安心感醸成にもつながり設置効果が高いことから、組合では機器やシステムの検討を重ね、今回、設置する運びとなった。  
11月28日(月)には問屋町会館前において運用開始式が執り行われ、西理事長がスイッチを入れてカメラを起動させた。カメラの映像は原則非公開であるが、問屋町会館前のカメラのみ、冬期間の積雪



藤本専務理事が要望書を手渡し

状況確認等に活用できるように、組合員限定でライブ映像を公開している。  
また、11月2日(火)には、問屋町の夜間の犯罪抑止及び通行の安全を図るため、道路照明の早期LED化と防犯灯の増設に関する要望書を青森市に提出した。  
団地内の道路照明は、組合が団地造成時に道路等のインフラと一緒に整備し、第二問屋町地区を昭和60年に、問屋町地区を平成10年に、それぞれ道路等とあわせて青森市に寄付した経緯がある。  
現在の団地内の道路照明は従来型の電球式で、玉切れの際は交換まで時間を要することや、設備の経年劣化や道路照明の絶対数が少なく照度が不足していることに加え、街路樹により照明が遮られている箇所もある。安心・安全なまちづくりを進めるにあたって支障が出ていたため、早期対応を要望した。

要望書を受け取った青森市都市整備部の八戸理事は「青森市では今年、問屋町大通りの7基の道路照明をLEDに取替しており、今年度中には

更に4基をLED化する計画である。全体の改修計画については、厳しい財政状況ではあるが、早期に改修できるように検討する」と答えた。



ささほ四ヶ町商店街で記念撮影

組合では国内経済視察会を11月14日から16日までの3日間行った。今回は長崎県にある佐世保卸団地(協)長崎卸センターの2卸団地に加え、ささほ四ヶ町(よんかちょう)商店街を視察。西理事長を団長に組合員ら16名が参加した。  
佐世保卸団地は、今年創立50周年を迎えた歴史ある組合。同組合では、県や市、金融機関などをメンバーに「未来戦略委員会」を設置。地元的主要機関との関係を強化し、卸団地の方向性を検討している。  
橋高理事長は「卸団地の将来の発展のためには、行政等を巻き込んだまちづくりが重要である」と話した。  
長崎卸センターでは、組合経済事業及び全職員を子会社に移管。組合員から徴収した賦課金は福利厚生事業等にも使い、組合員に還元する、という珍しい組合運営方法などについて説明を受けた。  
組合概要説明後に行われた意見交換では、同組合の笠瀬専務理事から、理事会の損害賠償責任に対する備えについて問題提起がなされたほか、「全国の組合間で連携し、各卸団地の組合員企業が取り扱う地元の逸品などを紹介したい、ビジネスに発展させてはどうか」との提案もあった。

**安心・安全なまちづくりを目指して**  
**防犯カメラ運用開始・道路照明LED化等要望**

**長崎県の2つの卸団地など視察**  
**国内経済視察会**



組合創立50周年記念事業  
の骨子と承認

第8回理事会

11月28日(月)に第8回理事会が開かれ、審議の結果、全て原案どおり承認された。

また、事務局からは問屋町緑のボランティア隊の活動や平成28年度決算予想について報告を行った。

主な案件審議は次のとおり。  
案件一、事業委員会からの意見について

組合創立50周年記念事業の骨子や問屋町会館床補正工事の実施について承認された。  
案件二、環境対策委員会から

の意見について  
パソコンリサイクル回収事業の回収日変更などが承認された。

案件三、組合員跡地再整備計画について

案件四、組合施設の賃貸及び

新規組合員加入承認について

案件五、つなぎ資金の借換及び借入について

案件六、第50回通常総会の日程等について

案件七、平成28年度第9回理事会の日程等について

理事会終了後には、青森問屋町配送(株)の第3回取締役会

も開かれ、提出案件全てが原案どおり承認された。

新規組合員紹介

▽(株)アトマス

本社 愛知県名古屋市中

代表者 斉藤 正企

業務内容 遊技機卸売業

所在地 問屋町1丁目

TEL 76412244

▽(株)ブンメー

本社 青森県八戸市

代表者 川村 雄藏

業務内容 建築資材卸売

所在地 問屋町2丁目

10118

TEL 73816111

第40回問屋町ボウリング大会

記念すべき40回目を迎えた

問屋町ボウリング大会が、11

月18日(金)に開催された。

今回から会場をアオモリボウ

ルに移して開催された同大会

には30チーム90名が参加し、

熱戦を繰り広げた。



盛り上がる参加者

セキノ興産新社屋竣工

組合員の(株)セキノ興産が第

二問屋町内で進めていた青森

支店の新築建替工事がこのほ

ど完成し、新社屋での営業が

スタートした。

富山県に本社がある同社

は、昭和59年に第二問屋町へ

進出。鋼板製屋根・壁材を中

心とした建築資材や太陽光発

電システムの販売・施工を手

掛けている。

同社では、施設の狭隘化解

消のため隣地を購入して、約

1,100坪となった敷地に、

延床面積100坪の2階建て

事務所と、570坪の倉庫を

建設した。

大会は1チーム3名の団体

戦と個人戦で行われ、3ゲー

ムの合計スコアで順位を争っ

た。団体戦は(株)吉田産業が2

年ぶりの優勝。個人戦は、男

性の部の優勝者が(株)吉田産

業の岩谷憲太郎氏、女性の部で

は(株)青森銀行問屋町支店の関

野 隆之助氏が優勝した。

同大会では、スコアを競い

合うだけではなく、誰でも達

成可能な特別賞も多数準備さ

れ、多くの参加者が賞品を手

にし、表彰式は笑顔で溢れて

いた。

青森県内5卸団地で組織さ

れる青森県流通団地連絡協議

会の第30回通常総会が11月21



40回記念賞を受け取る山田氏

新築した。

高さ約9mある吹き抜け倉

庫には、製品の入出庫を自動

で行うユニット式自動ラック

棚が設置され、保管スペース

の有効活用と大幅な作業の効

率が図られている。

また、同社の主力商品であ

る太陽光パネルが倉庫の屋根

に設置されており、自家発電

により事務所と倉庫全ての電

力が賄われている。



セキノ興産新社屋



高さ9メートルある倉庫

第30回通常総会を開催

青森県流通団地連絡協議会

青森県内5卸団地で組織さ

れる青森県流通団地連絡協議

会の第30回通常総会が11月21

日(月)、八戸ワシントンホ

テルで開催された。

県内各地の卸団地から24名

が出席し行われた総会では、

橋本会長が議長に選出され、

審議の結果、すべて原案どお

り承認された。

総会後に開催された懇親会

では、青森県商工労働部田中

次長、八戸市商工労働部中村

部長から祝辞が述べられ、商

工組合中央金庫八戸支店の奈

良部支店長による乾杯の音頭

で祝宴に移った。

祝宴では、各卸団地から近

況が語られ、有意義な情報交

換が行われた。

豊かな住宅環境と快適な暮らしを追求します



青森支店 TEL 017-739-4551

FAX 017-739-4145

弘前・八戸・大館・仙台・秋田



宇部三菱セメント(株)特約店



株式会社 青森カイハツセメント

本社 青森市第二問屋町三丁目6番12号

電話(017)739-2436 (代)

八戸支店 むつ営業所 五所川原営業所

業務報告

…主要事項…

- 11月
  - 1日▽問屋町交通診断
  - ▽青森県高等学校長協会
  - 就職対策委員会企業訪問
  - 2日▽道路照明早期LED化等要望書提出
  - ▽大星神社敬神会総会
  - ▽青森労働局職場のメンタルヘルス対策シンポジウム
  - 4日▽青森県中小企業診断協会経営講習会・懇親会
  - ▽青友会臨時総会・親睦交流会
  - 9日▽青森県知事表敬訪問
- 10日▽青森県社会保険委員実務研修会
- 11日▽横浜マーチャングデザインセンター創立40周年記念式典・祝賀会
- ▽青森法人会税を考える週間記念講演会
- 12日▽大農林水産祭(13日)
- 14日▽国内経済視察会(16日)
- 15日▽金融審査会
- 17日▽青森大学企業訪問
- 18日▽第2回献血大会
- ▽第40回問屋町ボウリング大会
- 19日▽大星神社新嘗祭
- 21日▽北日本流通ヴァン取締役会
- ▽青森県流通団地連絡協議会通常総会・懇親会
- 22日▽第4回環境対策委員会
- ▽青森税務署年末調整説明会
- ▽フアラワーアレンジメント教室
- 24日▽第3回事業委員会
- ▽第2回税務研修会
- 25日▽全国卸商業団地協同組合連合会東北ブロック会議
- ▽青森商工会議所業務流通商業部会総会
- 28日▽第8回理事会
- ▽問屋町防犯カメラ運用開始式
- 29日▽青森商工会議所「税務と簡単にわかる決算書の見方」

…問屋町…

ビジネススクール

- 1日▽販売戦略(戦術編)
- 2日▽Y.S.C.L.U.B.④
- ▽商業簿記3級取得講座⑨
- 8日▽給与実務の基礎の基礎(労基法編)①
- 9日▽商業簿記3級取得講座⑩
- 10日▽給与実務の基礎の基礎(労基法編)②
- 15日▽流通コーデイネーター養成講座①
- 16日▽商業簿記3級取得講座⑪
- 17日▽流通コーデイネーター養成講座②
- 22日▽仕事のダンドリの基礎①
- 24日▽仕事のダンドリの基礎②

組合50年の歩み

第3回

「モーターリゼーションと第二問屋町拡張①」

【昭和52年～61年】

昭和52年には組合創立10周年を迎え、記念式典が盛大に開催された。この年には、雲谷地区に福利厚生施設である野球場と運動場を造成した。当時は多くの組合員が自前で野球チームを持ち、問屋町野球大会には多い時で40を超えるチームがエントリー。問屋町にあった野球場と2会場に分かれて大会が行われるほど盛んであった。また、現在の第二問屋町にある共同倉

庫A棟・B棟が完成し、組合員への貸し出しを始めたのも昭和52年のことであった。昭和53年には、ごみの共同収集(ごみ収集所設置)がスタートし、54年には共同機械整備も始まった。また、組合員の物流コスト軽減を図るため共同配送事業を実施することとし、昭和55年に青森問屋町配送(株)を設立した。翌56年には共同配送センターが完成し、営業を開始するなど、この時期は、組合員へのサービス向上を図るべく、新たな共同事業に積極的に取り組んだ。そのほか、組合員の若手経営者や後継者らを組織される青森問屋町経営同友会も昭和55年に発足された。

昭和50年代以降、モーターリゼーションの進展に伴い高速道路を中心とした道路インフラ整備が進められ、青森市を取り巻く道路交通環境も大きく変化した。昭和54年に東北自動車道、青森～大鰐間が供用開始。昭和55年には、青森市と七戸町(当時は天間林村)を結ぶ、みちのく有料道路も開通した。これにより、青森市内の企業にとっては弘前市や八戸市など津軽、南部の両生活圏へのアクセスが強化され、業務拡大につながった。

第二問屋町造成前の卸団地空撮

4K8K 衛星放送

マスプロは4K・8K衛星放送受信設備のパイオニアとして応援します。



オリエント商会株式会社

青森市第二問屋町三丁目6-8 電話 739-0163

短期間のイベントや警備には レンタル無線機が最適です

(株)電技パーツ



お問合せ下さい

- 電子部品
- 無線各種
- PC関連
- 防犯カメラ
- 放送設備



青森市第二問屋町3-6-44 TEL: 017-739-5656 Email: shop@dengiparts.co.jp

入 学 生 募 集 !

一地域社会の高度情報化を担う即戦力の人材を育成します

職業訓練法人 青森情報処理開発財団

あおもりコンピュータ・カレッジ

青森市荒川字柴田129 TEL 017-739-1311 URL: http://www.acc.ac.jp

総合断熱資材・空調部材

(株)オー・ケー・アイ

〒030-0131

青森市問屋町二丁目20-7

TEL (017) 764-1105

FAX (017) 728-3371



### ボルダリングジムが 問屋町にオープン

11月11日(金)に青森市初の本格的ボルダリングジム「Glide Climbing」(グライドクライミング)が問屋町会館の西側にオープンした。

ボルダリングとはスポーツクライミングの一つで、ロープを使わず人工的に突起物が配置された壁をコースに沿って登る競技。バランス感覚と頭脳を同時に使い、体も鍛えることができるので、健康的になりやすい。ダイエットしたい方にも最適。



ボルダリングジム室内

から上級者までレベルに合わせたコースが用意され、老若男女問わずに楽しむことができる。料金は大人が1回千五百円、中高生が千円。初回登録料が五百円で、大人と一緒に利用した場合に限り小学生以下は無料である。

### 団地企業訪問

今回の団地企業訪問では、今年の8月に新たに組合員となった、K・フロスピ(株)の小枝社長にお話を伺った。

同氏は平成21年1月にFrontier(開拓)Spirits(精神)をモットーに警備会社のK・フロスピ(株)を設立。

工事現場での交通誘導業務、短期から長期配置まで対応する駐車場警備、24時間・365日の警備体制で安全かつ快適に施設を管理する施設警備等、総合的に警備業務を提供している。

「当社は安全と安心を提供すべく、目配り・気配り・思いやりの精神をもって、日々の業務を

営業時間は、平日午後1時から11時、土日祝日は午前11時から午後11時まで。定休日は毎週水曜日、今年の年末年始は12月30日から1月3日までが休業日となっている。

### フラワーアレンジメント 教室を今年も開催

青森問屋町経営同友会受託事業であるフラワーアレンジメント教室が、「いい夫婦の日」である11月22日(火)に問屋町会館で開かれた。男性限定の同教室は、青森県花のくにづくり推進協議会(富樫会長)の協力のもと、昨年に引き続き開催。組合員従業員他22名が参加した。



フラワーアレンジメント教室

参加者は、日本フラワーデザインナー協会所属の講師の指導のもと、慣れない花の扱いに四苦八苦しながら作品作りにも励んだ。完成した作品は各自持ち帰り、日頃の感謝の気持ちをこめてパートナーに贈られた。



K・フロスピ(株)代表取締役  
小枝 花奈 氏

行っております。お客様のことを第一に考え、人手が足りなくなる繁忙期でも人材を確保し、依頼を受けた仕事は断らないよう努力しています。また、お客様や地域の方々に安心していただけるよう、社内講習等で日々警備員教育にも力を入れています。

当社ではこれからも一人一人向上心を持ち、皆様のお力になれるよう頑張っております」と語った。

問屋町に進出した経緯について尋ねると、「今年11月、問屋町にボルダリングジム「Glide Climbing」(グライドクライミング)をオープンさせました。1年ほど前から物件を探していたところ問屋町の物件に出会い、

倉庫をジムに改装しました。当施設を作ろうと思ったきっかけは、数年前から趣味でボルダリングをしていた夫の「競技の楽しさを広めたい」という想いからです。私は競技経験がないため、夫が店長となり利用者に注意点やコツを教えています。

高さ約4・5メートルの壁には、ホールドと呼ばれる突起物約3千個が配置されており、世界大会6位の実績がある方にコースを設定してもらいました。97あるコースでは初心者から上級者まで幅広く楽しめるようになっていきます。会員は既に200人を超え、みなさん仕事終わりの休日を利用してボ

ルダリングを楽しんでいます。2020年の東京五輪では、ボルダリングを含むスポーツクライミングの実施が決まっております。いずれば地元から五輪選手が出てほしいですね。当施設は年齢やレベルに関係なく楽しめる施設となっているので、是非気軽に遊びに来てください」とアピール。

プライベートに話が及ぶと、「趣味はゴルフです。初めてお会いする方とでも、半日以上一緒に回るので、仲良くなることとができ、その人の性格も見え隠れするので交流を広げるにはとてもいいスポーツだと思えます。負けず嫌いの性格ですが、メンタルが弱いところが自分の弱点ですね」と苦笑い。(38歳)

### 編集後記

平成26年度から検討してきました防犯カメラをやったと団地内に7台設置することができました▼当初の計画ではかなり設置費用がかさむ見通しでしたが、他団地の事例を参考に設置場所などを再検討して今回の設置となりました▼これで「安心・安全なまちづくり」に一歩を踏み出すことができました。今後は街路灯のLED化と増設をしたいと思っています▼転話題。9月以来ですが古井祐司氏の「会社の業績は社員の健康状態で9割決まる」のつづきをご紹介します▼これまでは「健康経営が企業の生産性の向上に繋がる」といった取組の有用性について述べましたが、今号からは健康経営に取り組みたくても始められない「健康経営を阻む6つの罠」とその対策をご紹介します▼その罠とは①健診受診率を知らないという罠②個人情報を守る罠③健康を個人だけに任せてしまう罠④社員がついてこないという罠⑤自社だけで解決しようとする罠⑥継続しない罠、の6つです▼まず①「健診受診率を知らないという罠」については従業員の健診受診率が高くないと。健康診断をしていないから健康管理をしていないから健康経営をしていないと考える会社が多いようですが、健診結果を活用して、どんな対策を打つかが健康づくりの鍵です▼社員の健診受診率を知り、必要があれば受診を促すため、結果データは対策を検討するための自社の素材にする、それが健康経営の第一歩です。▼この稿続く(藤本)

青森県公安委員会認定 第176号  
(一社)青森県警備業協会 会員

**K-Frontier Spirits Co.**  
**K・フロスピ株式会社**

代表取締役 小枝花奈

交通誘導警備・施設警備・制服販売等

〒030-0901 青森市港町1丁目2-8  
TEL:017-762-7226 FAX:017-762-7228 URL:http://kfrospi.jp/

**アウトランダー PHEV**  
— フラグライン ハイブリット —

驚きの低燃費

充電電力使用時 走行距離 (国土交通省標準値)	60.8km
ハイブリット燃料 消費率 (国土交通省標準値)	19.2km/ℓ

**青森三菱自動車販売株式会社**

MITSUBISHI MOTORS 〒038-0042 青森市大字新城字平岡397番地20 TEL:017-781-3311